

スキルフリー®避難時用マット 取扱説明書 (表面)

マット本体

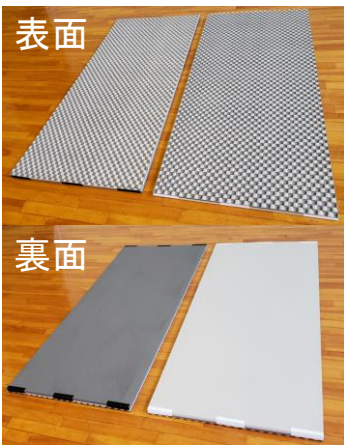


図1. マット本体

1梱包につきマット10枚が同封されています。

- ・裏面黒色マット…5枚
- ・裏面グレーマット…5枚

【接続用面ファスナー】

マット1枚につき、計14枚の面ファスナーが付いています。本体同士や部品の接続に使用します。

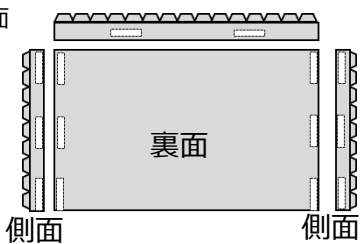


図2. 面ファスナー位置

付属品

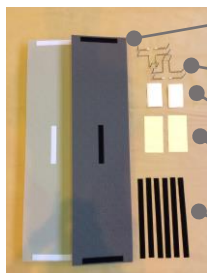


図3. 付属品

- 部品A: スタンドマット…2枚
- 部品B: T固定具…2個 (マット本体の端部に取付ています)
- 部品C: 壁固定用面ファスナー (白色) … 2枚
- 部品D: 養生シート (緑色もしくは半透明) …2枚
- 部品E: 結束用面ファスナー (黒) …6枚



注意事項

- 可燃性ですので、火気や高温のものには近づけないでください。
- 屋内に設置し、直射日光を避けるようにしてください。
保管状況によって多少変色する可能性はありますが、品質には問題ありません。
- 静電気に注意してください。
- マット本体の面ファスナーは粘着剤で取り付けております。使い方を誤ると、剥がれる可能性があります。
- 床面の塵や埃により、面ファスナーの係合力が低下する可能性があります。
- 設置時およびパーティション使用時に寄りかからないでください。怪我や衣服を傷つけたりする恐れがあります。
- パーティション組立時には面ファスナー同士をしっかりと接続してください。倒壊し怪我をする恐れがあります。
- 汚れ等が発生した際は、すぐに拭き取って下さい。切断による除去はお控え下さい。
- かぶれ等、肌に異常が生じた場合や、気分が優れなくなった場合は、使用を中止してください。
- 消毒用アルコール以外の薬品を付着させないでください。
- 本製品は、飛沫感染の防止など、利用者の安全・健康を保証するものではありません。
- 廃棄処理については、自治体の指示に従い、適切な方法で行ってください。
- 本来の用途以外のご使用はお控え下さい。

壁への設置方法

1. マット1枚を使い設置位置を定め (図4)、上部両端2箇所の固定箇所部品Dを貼り、その上から部品Cを貼ります (図5)。

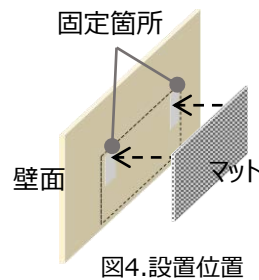


図4. 設置位置

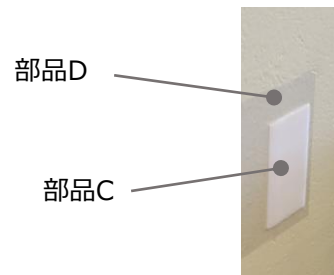


図5. 固定位置

2. 壁に貼り付けた部品Cに、マット裏面の面ファスナーを押し当て、マット1枚を固定 (図6) し、残りのマットを重ねます (図7)。



図6. マット1枚固定



図7. 残りのマットを重ねる

3. 最表面のマット表面を室内側に向け、部品Eで上面と両側面に2箇所ずつ固定し、部品Aを両側面に取り付け完成です (図)。

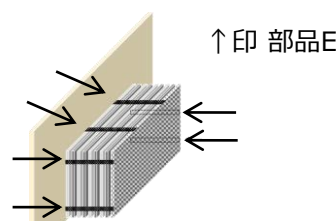


図8. 結束用面ファスナー取付箇所



図9. 設置完成

パーティション組立方法例 (マット10枚、2ブース分)

組立の際は、二人以上での作業を推奨します

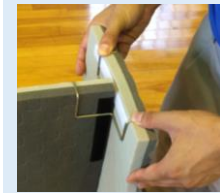
1. 部品Bの突起を上に向けます。



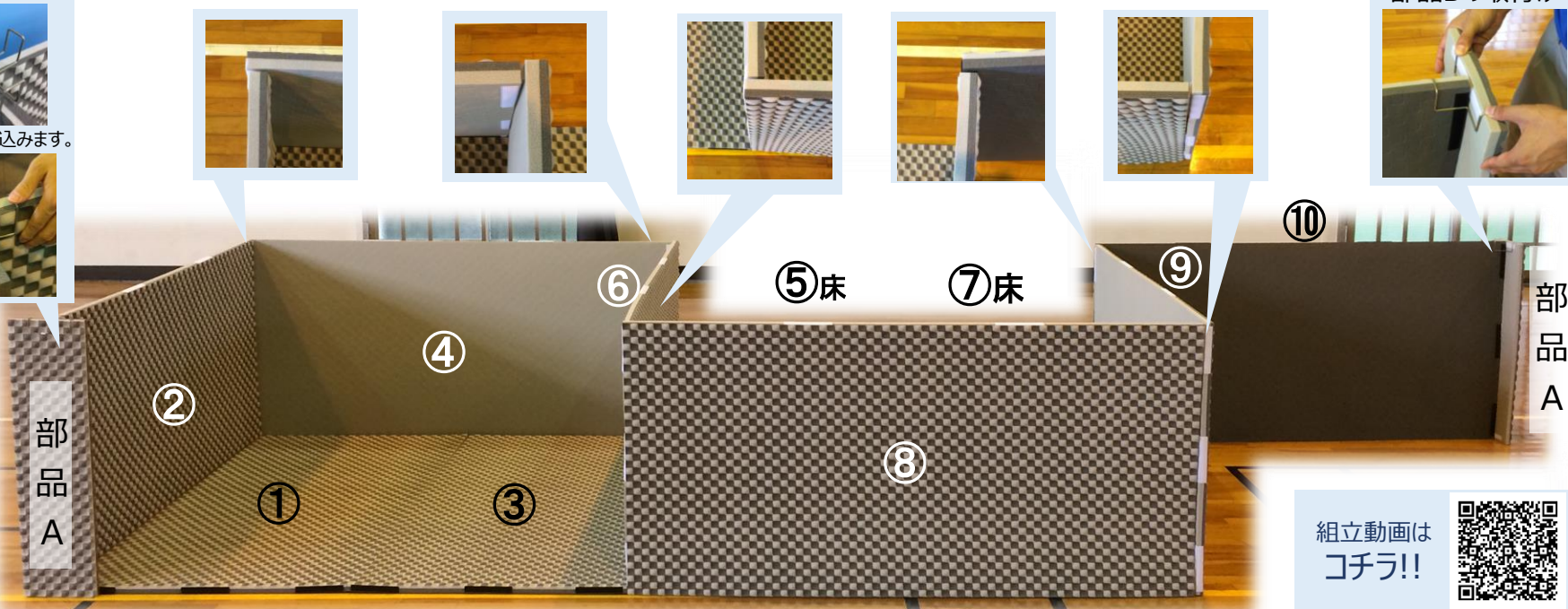
2. 垂直に押し込みます。



部品Bの取付け



部品A



組立動画は
こちら!!



【手順1】

- ・床にマット①を敷きます。…※1
- ・端部を自立させる為、マット②と部品A (スタンドマット) を「T」型に接続し、部品B (T固定具) を取付けます。

【手順2】

- ・床にマット③を敷きます。
- ・マット②と④を接続します。
- ・床にマット⑤を敷きます。
- ・マット④と⑥を接続します。

【手順3】

- ・床にマット⑦を敷きます。
- ・マット⑥と⑧を接続します。
- ・マット⑧と⑨を接続します。

【手順4】

- ・マット⑨と⑩を接続します。
- ・端部を自立させる為、マット⑩と部品A (スタンドマット) を「T」型に接続し、部品B (T固定具) を取付け完成です。…※2

※1…裏面黒色マットを床に敷く事を推奨します。

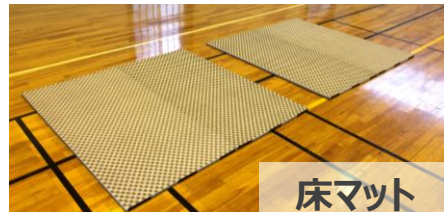
※2…2ブース以上を作る場合は手順1～4を繰り返し、端部のマットに部品Aと部品Bを取り付けて下さい。

製品使用例

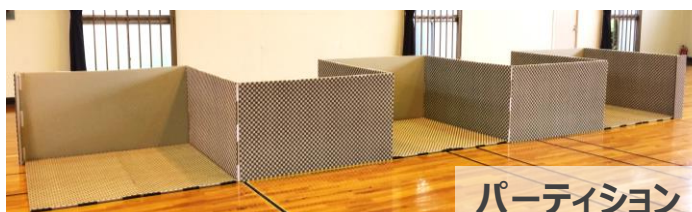
壁緩衝材



床マット



パーティション



ボックス

